

弘前

短命県脱却へ 産学官が集結

27日、弘大がサミット

弘前大学、県、弘前市は27日午後1時から、同市のアートホテル弘前シティで「弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット」を開く。

本県の短命県脱却やヘルスケア産業の創出に向け、産学官が一堂に会し、講演や報告、意見交換を行う。

弘前大学院医学研究科の中路重之教授が、新たなス

タイルの健診を提唱するほか、同大に寄付講座を開設した日用品大手ライオンの濱逸夫社長が、同社の取り組みを紹介。大規模な健診データの解析状況のほか、県内の地域、学校、職場での健康づくりに関する取り組みも報告される。

入場無料。先着300人。

申し込みは名前や団体名、電話・ファクス、メールアドレスを記入の上、弘大COI研究推進機構(電話0172-395538、ファクス同5205、電子メールcoi.info@hirosaki-u.ac.jp)へ。(鎌田秀人)